

新潟県でのとキリシマツツジ展
新品種「紅重(べにがさね)」などを展示

NPO法人「のとキリシマツツジの郷」は3月6日から5日間、新潟県立植物園で「北前船でつながる花文化～のとキリシマツツジ展～」を開き、同植物園と島根大学の共同調査により発見された新品種「紅重」や珍しい「紫霧島」の大型盆栽などを展示しました。最終日の10日にはシンポジウムも行い、同NPOの政田成利事務局長が事例報告しました。同NPOによる県外展示は、東京・鎌倉・京都に続き4回目。



5日間で1,700人が来場した

「ふるさと未来塾」先進事例調査
堆肥製造施設を視察しました

里山里海のバイオマス資源を活用した循環型社会構築を目指す「ふるさと未来塾」の受講生ら8人が、3月3日から4日にかけて栃木県へ視察に行きました。茂木町にある有機物リサイクルセンター「美土里館」では、矢野健司町農林課長が里山保全につながる落ち葉の買取システムのほか、落ち葉や生ごみなどを混ぜて堆肥を作る施設について説明。宇都宮大学では、里山を再生していくための今後の課題などを学びました。



「美土里館」で堆肥の製造について説明を受ける参加者

前立の前で神事に臨む参列者



石仏山祭り
五穀豊穡を願う伝統の春祭り

神道地区の祭礼「石仏山祭り」が3月2日に行われ、氏子ら約10人が地区の繁栄と五穀豊穡を祈りました。参列者は雪が降る中、急な山道を100%ほど登り、前立と呼ばれる高さ約3mの石の前にたどり着きました。一帯はナタなど刃物の持ち込みが禁じられていることから大木が残り、厳かな雰囲気は漂っています。石仏山は女人禁制の結界山とされ、社殿を持たず神道の古い形態を残すと言われています。

息を合わせて綱を引く団員



スポーツ少年団交流会
スポ少活動一年の締めくくり

能登町スポーツ少年団の交流会が2月24日、内浦体育館で行われ、団員ら約250人が親交を深めました。この日は12の班に分かれて5つの競技に挑戦。普段は違う競技を頑張る仲間たちと、協力しながら汗を流しました。

交流会後は母集団の皆さん手作りのカレーライスが振る舞われました。団員たちは何度もおかわりをするなど、おいしそうに食べていました。

内浦野球場バックスクリーン完成
試合を盛り上げる電光掲示板



始球式には持木町長が力強い投球を披露

内浦野球場(布浦)のバックスクリーン完成記念試合が3月17日に開催。選手や関係者らが、名前や画像まで表示される新しいバックスクリーンの完成を喜びました。このバックスクリーンは、独立行政法人日本スポーツ振興センターの平成24年度スポーツ振興くじ助成金を受けて整備されました。

このほかに、能都健民テニスコートの人工芝(8面)と照明灯(4面)も同助成金を受けて整備されました。



整備された人工芝(左)と照明灯

中十七波・乃波木 春風トークショー
風の人として「能登」で暮らす

能登町ふるさと大使で写真家の中乃波木さんと母親で陶芸家の十七波さん親子によるトークショーが3月17日、町立美術館で開催されました。「協働のまちづくり」をテーマに開かれた今回のトークショーには、町内外から約50人が参加。十七波さんは「新しいものを作らなくても、能登には良いものがたくさんある」と21年前に能登町に移住し、風の子の視点で暮らしてきた能登での生活を振り返っていました。



写真を披露しながら進められたトークショー

庭園での環境調査の概要についても説明された



名勝 旧松波城庭園の保存・活用を考える
地域の宝を次代につなげる

国の名勝・旧松波城庭園の保存や利活用について考えるシンポジウムが、3月2日に内浦福祉センターで開かれ、地域住民約120人が参加しました。

旧松波城庭園の枯山水は、平たい石で水の流が表現される、他に例が見られない様式美が特徴です。京都造形芸術大学の尼崎博正教授は報告で「京の文化を取り入れながら、能登独自の意匠もあるすばらしい庭。地域の誇りとして大切にしてほしい」と述べました。

お知らせ 緊急速報メール配信

携帯電話に災害情報などを一斉配信

災害時の新たな情報伝達手段として、緊急速報メールを配信します。

災害が発生した時や避難が必要な時に、ドコモ、au、ソフトバンクが提供している緊急速報メールと連携して、町内にいる皆さんの携帯電話に災害情報を一斉配信します。

- ・受信料は無料です。
- ・事前にメールアドレスの登録は不要です。

※携帯電話の機種によっては、配信サービスを受けられない機種や、受信設定が必要となる機種がありますのでご注意ください。対応機種や受信設定は、携帯電話各社のホームページや購入販売店でご確認をお願いします。

【緊急速報メール】

携帯電話を利用した災害時専用の情報配信の仕組み。気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報のほか、自治体が配信する災害・避難情報などの緊急かつ重要な情報を、ドコモ、au、ソフトバンクが提供する緊急速報メールサービスを利用し、携帯電話に配信するもの。

☎総務課危機管理室 ☎ 62-8510

募集 「ふるさと未来塾」受講生募集

新エネルギーについて学ぼう

能登町は里山里海のバイオマス資源を活用した循環型社会の実現を目指し、昨年8月より「ふるさと未来塾」を開講しています。

「里地」「里山」「里海」「エネルギー」の4つのグループでケーススタディを行っています。今年度は新エネルギーに関する内容も盛り込んでいきます。自然と共生する持続可能な能登町をつくるため、あなたも一緒に学びませんか。

今月の「ふるさと未来塾」は次のような予定です。

〈開講日〉① 4月13日(土) 9:30～12:00

② 4月27日(土) 9:30～12:00

〈会場〉のと海洋ふれあいセンター

☎ふるさと振興課 ☎ 62-8532

お知らせ 有線テレビ

インターネット加入の負担を軽減

能登町有線テレビのインターネット加入について、4月1日から次のように改正されました。

- 加入負担金 10,500円
→初期登録手数料 4,200円

- 工事負担金 5,775円～
→自分で工事・設定できる場合は不要
- ※接続方法については、加入申込後に送付する「登録完了通知書」と一緒にご案内します。

接続料金やサービス内容に変更ありません。

- ・30M サービス 3,990円(月額)
- ・10M サービス 2,625円(月額)
- ・1M サービス 1,785円(月額)
- ※速度を保証するものではありません。

☎広報情報推進課 ☎ 76-8301

お知らせ 姉妹都市交流事業

姉妹都市との交流を支援します

町民自らが実施する姉妹都市との交流事業に対して補助金を交付します。

〈対象要件〉(各号すべてに該当すること)

- ①高校生以上の町内に住所を有する人
- ②5人以上で構成される団体
- ③研修、視察または各種交流を目的とした事業
- ④事業実施の30日前に申請書を提出し町の承認を受けた事業
- ⑤収入の額に公的助成金が3分の1以上含まれていない事業

〈補助金の上限額〉

- ①千葉県流山市は1人当たり5千円
- ②宮崎県小林市は1人当たり2万円

〈対象の経費〉

- ①交通費・宿泊費
- ②そのほか交流に必要な経費

☎総務課秘書室 ☎ 62-8501

【能登町役場】 ☎ 62-1000(代)
能都庁舎 (R#62-4506)
総務課 ☎ 62-8510
企画財政課 ☎ 62-8503
監理課 ☎ 62-8504
税務課 ☎ 62-8505
環境対策課 ☎ 62-8507

町民課 ☎ 62-8500
能都サービス室 ☎ 62-8500
ふるさと振興課 ☎ 62-8532
会計課 ☎ 62-8509
柳田庁舎 (R#76-0039)
広報情報推進課 ☎ 76-8301
農林水産課 ☎ 76-8302

柳田サービス室 ☎ 76-8300
農業委員会 ☎ 76-8303
建設課 ☎ 76-8304
内浦庁舎 (R#72-2108)
健康福祉課
(児童保育) ☎ 72-2512
(医療介護) ☎ 72-2502

(福祉庶務) ☎ 72-2503
(健康推進) ☎ 72-2504
(包括支援) ☎ 72-2513
内浦サービス室 ☎ 72-2500
上下水道課 ☎ 72-2507
教育委員会事務局 ☎ 72-2509
議会庁舎 議会事務局 ☎ 76-8310

ニュース 在宅長寿祝い金

瀧内清子さん(崎山)の100歳を祝う



2月23日、満100歳を迎えた崎山の瀧内清子さん(大正2年2月23日生まれ)を祝福するため、持木町長が瀧内さん宅を訪問しました。

持木町長が「これからもお元気で長生きしてください」と声をかけて祝い状とお祝い金を手渡すと、瀧内さんは「働いて、働いて、人に負けんと頑張った」と若いころを振り返っていました。家族とのおしゃべりが楽しみという瀧内さんは、時折冗談を言って周囲を笑わせていました。

お知らせ 水道料金

能都地区の検針基準日を変更します

水道検針機器を更新したため、能都地区の検針基準日を毎月15日から毎月25日に変更します。

なお、4月検針分と5月検針分で下記のように調整しますので、ご理解とご協力をお願いします。

3月検針基準日 3月15日

4月検針基準日 4月20日

5月検針基準日 5月25日(以降毎月25日)

検針日近くになりましたら、量水器の周りに物を置かないようお願いします。

☎上下水道課 ☎ 72-2507

ニュース あばれ祭国立歴博常設展示

3月19日に記念式典。常設展示へ



映像、写真、キリコ、神輿などが展示されているブース

国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)の開館30周年記念式が3月19日に行われ、あばれ祭の常設展示が始まりました。あばれ祭は、①「民俗」へのまなざし②おそれと祈り③くらしと技—の3つブースから構成された第4展示室の「おそれと祈り」に沖縄県八重島の節祭や広島県比婆荒神神楽の再現模型と一緒に展示されています。

歴博は東京(京成上野駅)から約1時間。展示によって、今後は『本物』のあばれ祭を訪れる観光客の増加が期待されています。

式典に先立つ3月10日には、夏季展示用に制作が進められていたあばれ神輿が完成。「あばれ祭常設展示支援実行委員会」のメンバーら14人が集まり、完成を祝いました。



あばれ神輿の完成を喜ぶ実行委員会メンバーら

ニュース 自衛隊入隊予定者激励会

希望と不安を胸に、自衛官の道へ

自衛隊入隊予定者の激励会が2月20日、能都庁舎で行われ、入隊予定の3人が激励を受けました。

激励を受けたのは、能登高校から陸上自衛隊に入隊する札木翔さん(宇出津)と村上大介さん(布浦)、飯田高校から海上自衛隊隊に入隊する濱崎興樹さん(七見)の3人。持木町長から「新たな環境で訓練し、立派な自衛官になってください」と激励を受け、自衛官となる決意を新たにしていました。



募集 能登町奨学生

能登町奨学生を募集します

平成25年度能登町奨学金貸与を受ける生徒・学生を募集します。必要書類など詳細については町ホームページ、または下記までお問い合わせください。

〈貸与区分〉

○高校 20,000円(月額)

※能登高校入学者には25,000円の特枠制度あり

○短大・高専 25,000円(月額)

○大学 30,000円(月額)

〈貸与資格〉以下の要件を満たす人

①本町に現に引き続き3年以上居住する人の子弟
②以下のいずれかに在学し、品行方正、学術優秀および身体強健であること。

・高等学校(特別支援学校の高等部を含む)
・高等専門学校または専修学校の修業年限が2年以上の高等科もしくは専門課程

・大学(大学院を除く)

③学費の支弁が困難であること。

④同一世帯、もしくは2親等以内の親族に町税等の滞納がないこと。

〈受付期間〉4月8日(月)～4月26日(金)

〈提出先〉教育委員会事務局・各庁舎サービス室

☎教育委員会事務局 ☎ 72-2509

募集 オーストラリア・スタディツアー

海外で学び、広い視野と行動力を

次代を担う中学生を海外に派遣し、文化・産業・経済・福祉などの体験学習や人的交流を通じて異文化を理解し、広い視野と実践力を備えた人材を育成します。

平成25年度ツアーの参加者を、次のとおり募集します。

〈研修地〉オーストラリア

(ブリスベン、ゴールドコースト)

〈日程〉7月24日(木)～8月2日(金)までの10日間(機内1泊) ※航空機のスケジュールや天候などで変更が生ずる場合があります。

〈募集人員〉13人(定員) ※引率者2人同行

〈応募資格〉

- ①能登町に在住する中学生であること。
- ②心身ともに健康で、規律ある団体生活ができる生徒であること。
- ③一般団員に内定した場合、事前・事後の研修に必ず参加できること。

〈個人負担〉

- ①参加負担金 21万円(通貨レートや日程の変更などで増減する場合があります)
- ②旅券取得費 1万円程度(5年用)
- ③任意諸経費 海外旅行傷害保険、予防接種などにかかる費用など

〈応募期限〉4月19日(金)

(定員に達しない場合は第2次募集あり)

〈応募用紙〉各中学校で取得

〈申込先〉所属する学校長

〈問い合わせ〉

能登町中学生海外派遣事業実行委員会事務局
(教育委員会事務局内) ☎ 72-2509 FAX 72-2393



平成24年度のツアー写真から

募集 地域産業育成・活性化支援事業

地域資源等を活用した新たなビジネスを創出しましょう

能登町の産業と地域の活性化を促進するため、地域資源等を活用した事業や独自性の高いアイデアでの新たなビジネス展開を支援します。

〈公募期間〉4月1日(月)～4月30日(火)

■開業・事業拡大支援事業

〈補助対象者〉

- ①町に事業所等を有する個人・団体・中小企業
- ②事業拡大に伴い3カ月以内に、新たに1人以上(6カ月以上)を雇い入れる個人・団体・中小企業

〈補助対象事業〉

- ①開業 ②新規分野への進出 ③異業種転換
- ④新連携事業(異分野連携新事業開拓)

〈補助金額〉

補助対象経費の1/2以内(限度額100万円)

■地域資源活用ビジネス支援事業

〈補助対象者〉

町に事業所等を有する個人・団体・中小企業

〈補助対象事業〉

- ①地域資源等を活用した特産品開発・販路開拓(地域ブランドの創出支援)
- ②地域資源等を活用した観光地・魅力拡大(観光地づくり)

※能登町農林水産物加工開発センター利用加算

〈助成金額〉

補助対象経費の2/3以内(限度額50万円)

※能登町農林水産物加工開発センター利用加算
2/3以内(限度額5万円)

■地域資源活用ビジネス可能性調査支援事業

〈補助対象者〉

町に事業所等を有する個人・団体・中小企業

〈補助対象事業〉

- ①地域資源等を活用した新技術・新商品開発に向けた可能性調査

〈助成金額〉

補助対象経費の10/10以内(限度額20万円)

☎ふるさと振興課 ☎ 62-8532

ニュース 能登町生涯学習振興大会

生涯にわたる学びは、人生を豊かに



社会教育功労者表彰を受けた皆さん

能登町生涯学習振興大会が3月10日、能都庁舎で開催されました。式典では、長年にわたって社会教育活動に貢献した1個人4団体が表彰を受けたほか、中学生の「私が町長だったら」作文の表彰と最優秀作品の朗読が行われました。

記念講演では、貴乃花部屋の女将・花田景子さんが「母として、妻として、女将として」と題して講演。花田さんは貴乃花親方の相撲人生を振り返りながら「あきらめないこと」の大切さを訴えました。

式典で表彰された皆さんは次のとおりです。(敬称略)

〈社会教育功労者表彰〉()は推薦団体

【個人】橋本洋子(町婦人団体協議会)

【団体】一心会(鶴川公民館)、小木公民館ダンス教室(小木公民館)、美すず民謡会宇出津教室(文化協会)、秋吉館下寿会(秋吉公民館)

〈「私が町長だったら」作文〉

〈最優秀賞〉多田真由美(鶴川中1年)、小関里佳子(小木中3年)、新谷梓紗(同3年)

〈優秀賞〉久山隆希(鶴川中1年)、高森勇馬(同1年)、岩波泰子(柳田中2年)、北野智明(小木中3年)



▲「私が町長だったら」作文最優秀賞の表彰を受ける生徒

▶講演する花田景子さん。会場は立ち見が出るほどの超満員となり、約450人が「平成の大横綱・貴乃花」の相撲人生に触れました

石川県柳田星の観察館

満天星が 20 周年

4月14日(日) 記念式典と記念イベントを開催します。



①記念式典

〈時間〉 11:00 ~

〈場所〉 満天星ホール・プラネタリウム

記念式典の後、プラネタリウム特別プログラム「満天星誕生 20 年」を投影。満天星が誕生してからの主な天文現象などを振り返ります。

②記念講演会

〈時間〉 13:30 ~ 15:00

〈場所〉 プラネタリウム

〈講師〉 自然科学研究機構 国立天文台

超大型望遠鏡 TMT 推進室長 家 正則氏

演題「30 m 望遠鏡で見る宇宙」

Thirty Meter Telescope (=30 メートル望遠鏡：略称 TMT) は、2021 年末の稼働開始を目標にして建設計画を進めている、口径 30m の光学赤外線・次世代超大型天体望遠鏡です。この望遠鏡が完成したらどんな宇宙の姿が見えるのかお話しいたします。

③記念コンサート

〈時間〉 17:00 ~ 18:00

〈場所〉 満天星プラネタリウム

満天星が誕生した 20 年前の星空を眺めながら、バイオリンなどの演奏をお楽しみください。

いずれも料金は無料です。お誘い合わせのうえお越しください。

星の観察館「満天星」 ☎ 76-0101



【入札結果】

2月16日~3月15日

広報紙では、契約金額500万円以上の入札結果を掲載しています。全入札結果は町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。 ☎ 監理課 ☎ 62-8504

| 件名 | 場所 | 担当課 | 契約額(税込) | 落札者 |
|-------------------------|-----|-----|-------------|---------|
| 町道1級鴨川上長尾1号線(孫三橋)橋梁補修工事 | 上長尾 | 建設課 | 18,270,000円 | 柳田建設(株) |

ニュース JAが交通安全教材寄贈

自転車の交通安全に役立てる

おおぞら農業協同組合の河谷内常務理事と内浦町農業協同組合の中谷代表理事組合長が3月6日、内浦庁舎を訪れ、中口教育長に「自転車交通安全教育DVD」を手渡しました。

J A 共済が地域貢献活動の一環で制作した DVD で、通学などで自転車に乗ることが多い中学生の交通安全に役立てられます。



教材を手渡す河谷内常務(中央)と中谷組合長

消防 高規格救急車更新ほか

火災予防に努めましょう!

春になり林野火災が多発する季節になりました。風が強く、空気の乾燥した日が多くなってきます。火気の取扱には十分注意してください。

内浦分署に新型高規格救急車を配備

能登消防署内浦分署(内浦救急隊)に3月4日、平成11年度から運用されていた高規格救急車に代わる、新型の高規格救急車が配備されました。

高度な救命処置に対応できるように車内は広く設けられ、より一層の救命率の向上につなげていきます。



納期 税金 / 保険料

今月の納期限は 4月30日(火)です

〈税金〉 軽自動車税 全期

〈保険料〉 後期高齢者医療保険料 第1期

ニュース コープいしかわと災害協定

コープいしかわと「災害時における支援協力に関する協定」を締結



協定書を手握し握手を交わす長谷川理事長と持木町長

生活協同組合コープいしかわと能登町は3月1日、「災害時における支援協力に関する協定」を締結。今後は、災害時の生活物資供給や物資輸送、平常時の啓発活動や防災訓練などで、協力を受けることになりました。

調印式後、持木町長は「行政、町民にとって心強い協力。綿密な連携を取っていきたい」とあいさつ。長谷川隆史理事長は「いざというとき、住民の皆さんにどれだけ役に立てるか。できることに全力を尽くしたい」と話しました。

ニュース のとまい弁レシピコンテスト

町の豊かな食材を弁当で発信

能登町と県立看護大学(かほく市)が協力し、町の食材を弁当で発信する「のとまい弁レシピコンテスト」の最終審査が3月3日、能登庁舎で行われました。28点の応募から1次審査を通過した9点が出品。町民50人の投票をもとに、石垣和子学長や田下副町長らが審査しました。

審査の結果、町の食材を色鮮やかに盛りつけた能登町出身の藤本貴子さん(白山市)が最優秀賞に選ばれました。

